

PROCEEDINGS OF THE JAPAN SOCIETY OF CIVIL ENGINEERS

# 土木学会論文報告集

No.171, 1969-11

計算機により制御された、はりの動的破壊実験 .....	伯野元彦 四倭正俊 原	1
逐次破壊現象としての斜面の安定性の数値解析 —粘・塑性有限要素法・模型実験との比較— .....	林藤原正義 夫一	11
河川の平均流速公式と河床面形態との関係について .....	杉尾捨三郎	25
シミュレーションによる系統信号方式のスルーバンドに 関する二、三の考察 .....	毛利正義 本光明	35
外海におけるケーソン防破堤施工方法の研究 .....	西田俊策 赤塚雄三 知智昭市	43
【討 議】		
円弧アーチの弾塑性解析 .....	討議者 吉田博 回答者 山崎徳也 石川信隆	65 64
斜めハンガーつり橋の力学性状に関する基礎的研究 .....	討議者 川口昌宏 回答者 小西一郎 白飯石田人裕	66 66

# マイクロのシン

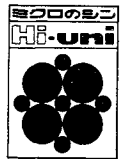
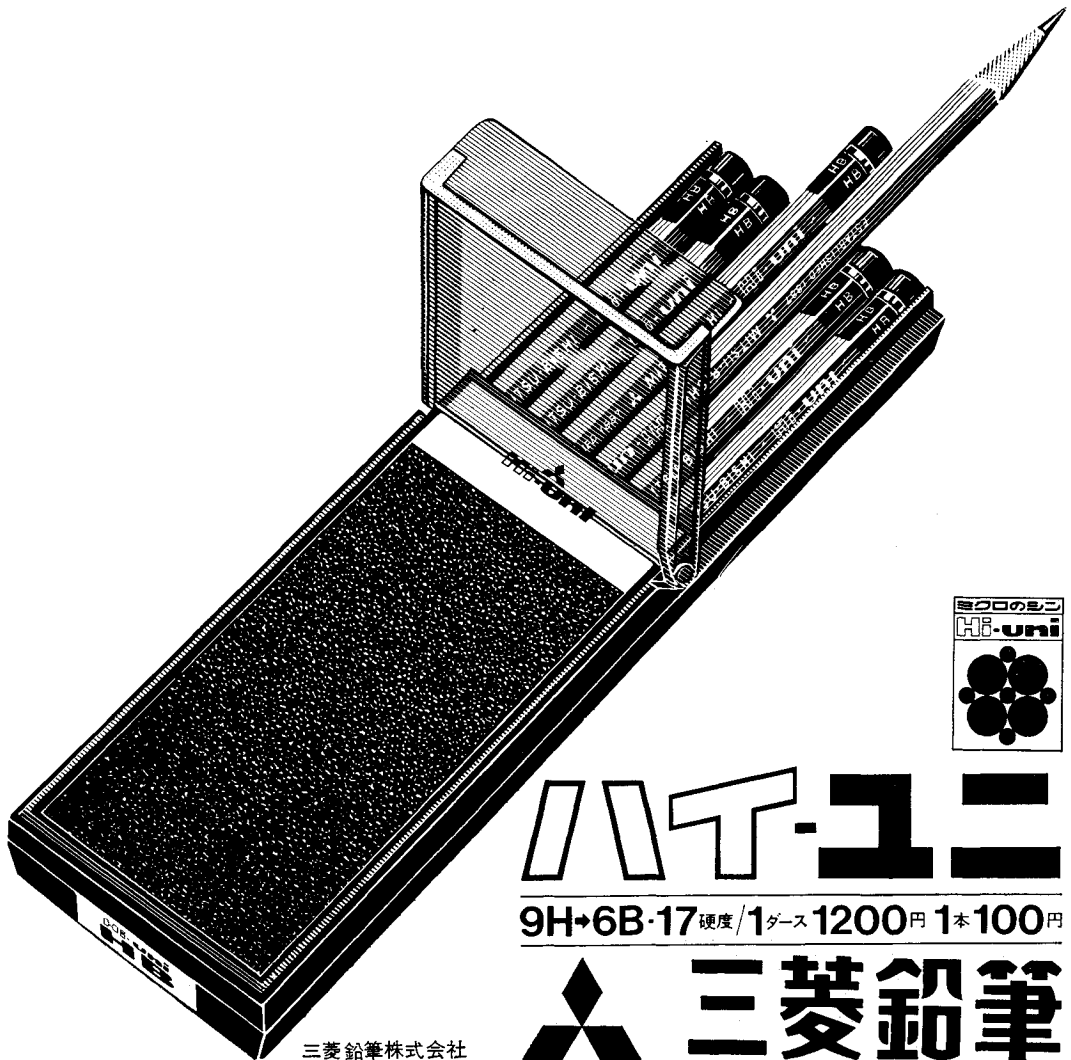
黒く・濃く・きれいに書ける理想のシン

そのヒミツは  
理想の粒度配合

ハイ・ユニは世界最初のマイクロのシンです。

ハイ・ユニは三菱鉛筆独自の製法で、黒鉛と粘土を大小さまざまな微粒子にして、理想的に配合しました。

黒く・濃く・きれいに書けるヒミツです。



## ハイ・ユニ

9H・6B・17硬度 / 1ダース 1200円 1本 100円

 **三菱鉛筆**

三菱鉛筆株式会社

# PROCEEDINGS OF THE JAPAN SOCIETY OF CIVIL ENGINEERS

No. 171, 1969-11

---

## C O N T E N T S

- Dynamic Destructive Test of a Cantilever Beam, Controlled by an Analog-Computer.  
*By Motohiko Hakuno, Masatoshi Shidawara and Tsukasa Hara 1*
- Finite Element Method to Progressive Failure of Sandy Slope Subjected to Incremental Loads in Comparison with Model Experiment  
*By Masao Hayashi and Yoshikazu Fujiwara 11*
- On the Relations Between Mean Velocity Formulas and Bedforms of River.  
*By Sutesaburo Sugio 25*
- Some Considerations on Through Band Concept in Progressive Signal Systems.  
*By Masamitsu Mori and Yoshiaki Honda 35*
- Studies on Construction Methods of Caisson Type Breakwater in the Open Sea  
*By Shunsaku Nisida, Yuzo Akatsuka and Shōichi Wachi 43*
- 

The Japan Society of Civil Engineers

Yotsuya 1-chome Shinjuku-ku, Tokyo  
JAPAN

## 論文報告集投稿要項の一部改正について

論文集編集委員会では論文報告集のあり方について種々検討を行なっておりますが、本年より従来の欧文要旨を発展的に解消し、欧文論文集を刊行することになりましたので、昭和43年5月発表（学会誌第53巻第5号4ページ参照）の投稿要項の「6. 要旨について：b) 欧文要旨①②③④」（下記参照）を全文削除します。すなわち、今後投稿される場合は欧文題目のみで、欧文要旨は必要としません。なお、新しい論文報告集の投稿要項については現在協議中ですので近くお知らせする予定です。

6. 要旨について：

b) 欧文要旨

- ① 欧文要旨は、本文の内容を海外へ紹介することを目的としますので、和文報文に限り必要とします。
- ② 欧文要旨の内容は、原則的には和文要旨に準じます。
- ③ 欧文要旨は、図・表・写真をふくみ別上り2ページ以内とし、本文ページ数には含みません。
- ④ 欧文要旨は、それだけで大体の内容が理解できるよう図・表および写真等それぞれ通し番号として下さい。

## 欧文論文集 (Transactions) の刊行について

土木学会論文集編集委員会では、先に会告でお知らせ致しましたように論文集の名称を第161号より論文報告集 (Proceedings) と改めました。この名称変更に伴い委員会では論文報告集のあり方について検討を行なうと同時に欧文論文集のあり方についても欧文論文集編集小委員会を組織し種々協議を重ねて参りました結果、わが国の学術論文の海外紹介を目的として、とりあえず今年度は論文報告集に掲載された論文・研究ノートを対象として欧文論文集を刊行することになりましたのでお知らせ致します。

初年度の内容としては、1) フルペーパーの欧文訳したものとしてか、あるいは 2) 100~250ワードにまとめた欧文要旨としてのいずれかとして掲載するものとします。

なお、研究ノートについては原則として2)の形で掲載することとします。

頒布方法・価格などについては現在検討中ですが欧文論文集購読ご希望の方は欧文論文集編集小委員会までがきでお知らせ下さい。

### 土木学会論文集編集委員

委員 長 ○林 泰 造	副委員長 ○前 田 幸 雄	委員兼幹事長 田 島 二 郎	
委員 ○林 泰 造	委員 ○前 田 幸 雄	委員 栗 林 一 久	委員 野 尻 一 雄
委員 ○阿 部 保 俊	委員 尾 坂 内 功	委員 佐 藤 敦 吉	委員 日 野 幹 一
委員 ○浅 川 美 利	委員 岡 村 宏 一	委員 佐 藤 吉 彦	委員 二 重 作 主
委員 ○伊 藤 文 人	委員 岡 本 雅 一	委員 首 藤 伸 夫	委員 深 水 正 泰
委員 ○伊 勢 田 哲 也	委員 加 藤 始 三	委員 島 田 静 雄	委員 深 沢 水 次
委員 ○石 原 研 而	委員 ○鍛 冶 晃 三	委員 田 村 重 四 郎	委員 松 浦 義 満
委員 ○飯 田 隆 一	委員 柏 谷 圭 衛	委員 竹 下 重 四 郎	委員 矢 口 作 文
委員 ○岩 垣 雄 一	委員 川 口 士 郎	委員 土 屋 雷 蔵	委員 山 田 高 邦
委員 ○岩 崎 訓 明	委員 木 下 武 雄	委員 ○中 瀬 明 男	委員 山 田 和 光
委員 ○上 沢 弘 一	委員 小 林 正 几	委員 中 村 正 平	委員 山 村 史 也
委員 ○上 田 年 比 古	委員 後 藤 茂 毅	委員 成 瀬 輝 男	委員 湯 浅 欽 史
委員 ○遠 藤 郁 夫	委員 越 正 毅	委員 西 野 文 雄	委員 芳 村 仁
委員 ○小 田 英 夫	委員 近 藤 正 正	委員 永 尾 勝 義	○印 部 会 長

土木学会論文報告集 No. 171

定価 200 円 (〒 20 円)

昭和 44 年 11 月 15 日印刷

昭和 44 年 11 月 20 日発行

発行者 東京都新宿区四谷1丁目

社団法人 土木学会専務理事 羽田 巖

発行所 社団法人 土木学会 郵便番号 160 東京都新宿区四谷1丁目 振替 東京 16828番

電話 (03) 351-5138